

質問3. 「DPC分類」もしくは「DPC制度」についてご存知ですか

- ① 良く知っている
 ② 簡単な説明ができる程度には知っている
 ③ DPCという言葉は聞いた事があるが、詳細は知らない
 ④ 殆ど、あるいは全く知らない

全職種についての集計

DPCを知っているか	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
①良く知っている	221	72	53	96
②簡単な説明ができる程度には知っている	852	331	234	287
③DPCという言葉は聞いた事があるが、詳細は知らない	579	224	163	192
④殆ど、あるいは全く知らない	471	188	109	174

医師についての集計

DPCを知っているか	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
①良く知っている	146	46	35	65
②簡単な説明ができる程度には知っている	341	131	73	137
③DPCという言葉は聞いた事があるが、詳細は知らない	150	73	33	44
④殆ど、あるいは全く知らない	80	38	13	29

看護師についての集計

DPCを知っているか	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
①良く知っている	22	8	9	5
②簡単な説明ができる程度には知っている	195	65	54	76
③DPCという言葉は聞いた事があるが、詳細は知らない	207	76	59	72
④殆ど、あるいは全く知らない	200	79	56	65

医師 v s 看護師 (総数について) : $p=0.000$

質問4. () 病院の () 診療科から、この1年の間に紹介された患者様について、記憶に残る方は何人くらいでしょうか。

- ① ほとんど記憶に残る患者様はない
 ② 数人の患者様について記憶がある
 ③ 5人前後の患者様について記憶がある
 ④ 10人前後の患者様について記憶がある
 ⑤ 大変多くの患者様について記憶がある

なお、患者様を貴病院に紹介したとする上記病院の診療科について、以下の質問では「この病院」と表現しますのでご注意下さい。

全職種についての集計

記憶に残る患者	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
① ほとんど記憶に残る患者様はない	387	147	110	130
② 数人の患者様について記憶がある	689	261	176	252
③ 5人前後の患者様について記憶がある	346	134	86	126
④ 10人前後の患者様について記憶がある	352	137	94	121
⑤ 大変多くの患者様について記憶がある	326	125	87	114

医師についての集計

記憶に残る患者	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
① ほとんど記憶に残る患者様はない	75	34	12	29
② 数人の患者様について記憶がある	200	75	40	85
③ 5人前後の患者様について記憶がある	137	56	30	51
④ 10人前後の患者様について記憶がある	157	69	25	63
⑤ 大変多くの患者様について記憶がある	147	54	46	47

看護師についての集計

記憶に残る患者	総数	DPC病院からの報告に基づくもの	DPC試行病院からの報告に基づくもの	DPC協力病院からの報告に基づくもの
① ほとんど記憶に残る患者様はない	122	35	37	50
② 数人の患者様について記憶がある	222	80	61	81
③ 5人前後の患者様について記憶がある	110	44	30	36
④ 10人前後の患者様について記憶がある	86	30	27	29
⑤ 大変多くの患者様について記憶がある	80	37	20	23

質問5. この病院の当該診療科から、患者様を紹介された主な理由

紹介された理由のうち 主なもの (3個まで選択可)	<input type="checkbox"/> ① この病院からの依頼検査のため	<input type="checkbox"/> ⑥ リハビリテーションのため
	<input type="checkbox"/> ② この病院では行わなかった新たな治療を行うため	<input type="checkbox"/> ⑦ 癌の終末期緩和ケアのため
	<input type="checkbox"/> ③ 当院が以前行っていた治療を再度行うため	<input type="checkbox"/> ⑧ 保健福祉型の療養のため
	<input type="checkbox"/> ④ この病院の治療を継続するため	<input type="checkbox"/> ⑨ 在宅療養に移行するため
	<input type="checkbox"/> ⑤ この病院での手術からの回復のため	<input type="checkbox"/> ⑩ 経過観察のため
		<input type="checkbox"/> ⑪ 当院が紹介もとであった
		<input type="checkbox"/> ⑫ その他

この3年間で紹介される患者様の数の変化

① 増加する傾向にある ② 変わらない ③ 減少する傾向にある

全職種についての集計

紹介された理由	総数	D P C 病院からの報告に基づくもの	D P C 試行病院からの報告に基づくもの	D P C 協力病院からの報告に基づくもの
① この病院からの依頼検査のため	246	88	53	105
② この病院では行わなかった新たな治療を行うため	338	88	105	145
③ 当院が以前行っていた治療を再度行うため	190	69	48	73
④ この病院の治療を継続するため	740	374	156	210
⑤ この病院での手術からの回復のため	330	143	78	109
⑥ リハビリテーションのため	789	269	240	280
⑦ 癌の終末期緩和ケアのため	244	136	39	69
⑧ 保健福祉型の療養のため	89	17	30	42
⑨ 在宅療養に移行するため	395	123	127	145
⑩ 経過観察のため	333	176	80	77
⑪ 当院が紹介もとであった	653	272	163	218
⑫ その他	80	25	16	39

χ^2 乗: $p=0.000$

医師についての集計 (省略)

看護師についての集計 (省略)

全職種についての集計

この3年間で紹介される患者様の数の変化	総数	D P C 病院からの報告に基づくもの	D P C 試行病院からの報告に基づくもの	D P C 協力病院からの報告に基づくもの
① 増加する傾向にある	720	260	198	262
② 変わらない	1056	427	264	365
③ 減少する傾向にある	137	59	36	42

医師についての集計 (省略)

看護師についての集計 (省略)

質問6. この病院の当該診療科からの紹介患者さんの状態についてお尋ねします

1) この病院で入院中に行われた検査・治療について、以前（3、4年前）と比較して <input type="checkbox"/> ① 変わらず、満足できる <input type="checkbox"/> ② 向上し、満足できるようになった <input type="checkbox"/> ③ 変わらず、やや不満（不十分な検査・治療）のまま <input type="checkbox"/> ④ 以前より不十分な検査・治療になった
2) 以前に比べて、この病院における退院の決定は <input type="checkbox"/> ① 早すぎる退院で紹介されてくることが多くなった <input type="checkbox"/> ② この病院での入院期間は充分だ
3) 以前に比べて、この病院から退院後紹介される患者様の重症度が変わりましたか <input type="checkbox"/> ① 重症な患者が増えた <input type="checkbox"/> ② 変化はない <input type="checkbox"/> ③ 軽症の患者が増えた
4) 以前に比べて、患者様から聞く、この病院の処遇や治療についての満足度は変わりましたか <input type="checkbox"/> ① 変わらず、満足できると聞くことが多い <input type="checkbox"/> ② 以前に比べて、満足できると聞くことが多くなった <input type="checkbox"/> ③ 変わらず、不満であると聞くことが多い <input type="checkbox"/> ④ 以前に比べて、不満であると聞くことが多くなった <input type="checkbox"/> ⑤ 特に患者様からの評価を聞いたことはない
5) この病院からの退院患者の紹介を受けることを今後どう考えますか <input type="checkbox"/> ① もっと積極的に紹介してほしい <input type="checkbox"/> ② ケース・バイ・ケースで紹介してほしい <input type="checkbox"/> ③ 紹介してほしくない

全職員からの集計

	総数	D P C 病 院からの 報告に基 づくもの	D P C 試 行病院か らの報告 に基づく もの	D P C 協 力病院か らの報告 に基づく もの
1) この病院で入院中に行われた検査・治療について、 以前（3、4年前）と比較して				
① 変わらず、満足できる	1111	430	299	382
② 向上し、満足できるようになった	414	176	105	133
③ 変わらず、やや不満（不十分な検査・治療）のまま	264	98	64	102
④ 以前より不十分な検査・治療になった	31	9	8	14
2) 以前に比べて、この病院における退院の決定は				
① 早すぎる退院で紹介されてくることが多くなった	476	190	117	169
② この病院での入院期間は充分だ	1297	512	343	442
3) 以前に比べて、この病院から退院後紹介される 患者様の重症度が変わりましたか				
① 重症な患者が増えた	465	157	125	183
② 変化はない	1373	561	357	455
③ 軽症の患者が増えた	40	15	9	16

4) 以前に比べて、患者様から聞く、この病院の処遇や治療についての満足度は変わりましたか				
① 変わらず、満足できると聞くことが多い	675	255	182	238
② 以前に比べて、満足できると聞くことが多くなった	274	120	60	94
③ 変わらず、不満であると聞くことが多い	138	63	26	49
④ 以前に比べて、不満であると聞くことが多くなった	93	22	24	47
⑤ 特に患者様からの評価を聞いたことはない	754	291	215	248
p = 0.003				
5) この病院からの退院患者の紹介を受けることを今後どう考えますか				
① もっと積極的に紹介してほしい	618	237	173	208
② ケース・バイ・ケースで紹介してほしい	1343	527	339	477
③ 紹介してほしくない	23	7	7	9

医師からの集計

	総数	D P C 病 院からの 報告に基 づくもの	D P C 試 行病院か らの報告 に基づく もの	D P C 協 力病院か らの報告 に基づく もの
1) この病院で入院中に行われた検査・治療について、以前（3、4年前）と比較して				
① 変わらず、満足できる	431	170	90	171
② 向上し、満足できるようになった	146	74	31	41
③ 変わらず、やや不満（不十分な検査・治療）のまま	83	28	18	37
④ 以前より不十分な検査・治療になった	17	6	5	6
2) 以前に比べて、この病院における退院の決定は				
① 早すぎる退院で紹介されてくることが多くなった	80	50	23	37
② この病院での入院期間は充分だ	535	220	112	203
3) 以前に比べて、この病院から退院後紹介される患者様の重症度が変わりましたか				
① 重症な患者が増えた	129	42	26	61
② 変化はない	538	230	115	193
③ 軽症の患者が増えた	13	6	3	4
4) 以前に比べて、患者様から聞く、この病院の処遇や治療についての満足度は変わりましたか				
① 変わらず、満足できると聞くことが多い	308	120	69	119
② 以前に比べて、満足できると聞くことが多くなった	95	43	15	37
③ 変わらず、不満であると聞くことが多い	34	12	6	16
④ 以前に比べて、不満であると聞くことが多くなった	26	8	6	12
⑤ 特に患者様からの評価を聞いたことはない	221	95	48	78

5) この病院からの退院患者の紹介を受けることを今後どう考えますか				
① もっと積極的に紹介してほしい	239	98	46	95
② ケース・バイ・ケースで紹介してほしい	444	185	99	160
③ 紹介してほしくない	12	1	5	6

看護師からの集計

	総数	D P C 病院からの報告に基づくもの	D P C 試行病院からの報告に基づくもの	D P C 協力病院からの報告に基づくもの
1) この病院で入院中に行われた検査・治療について、以前（3、4年前）と比較して				
① 変わらず、満足できる	289	114	84	91
② 向上し、満足できるようになった	143	56	36	51
③ 変わらず、やや不満（不十分な検査・治療）のまま	92	30	29	33
④ 以前より不十分な検査・治療になった	7	2	2	3
2) 以前に比べて、この病院における退院の決定は				
① 早すぎる退院で紹介されてくることが多くなった	195	74	49	72
② この病院での入院期間は充分だ	321	123	94	104
3) 以前に比べて、この病院から退院後紹介される患者様の重症度が変わりましたか				
① 重症な患者が増えた	178	64	52	62
② 変化はない	361	140	99	122
③ 軽症の患者が増えた	14	5	5	4
4) 以前に比べて、患者様から聞く、この病院の処遇や治療についての満足度は変わりましたか				
① 変わらず、満足できると聞くことが多い	156	64	45	47
② 以前に比べて、満足できると聞くことが多くなった	88	34	24	30
③ 変わらず、不満であると聞くことが多い	52	19	15	18
④ 以前に比べて、不満であると聞くことが多くなった	35	5	10	20
⑤ 特に患者様からの評価を聞いたことはない	243	92	67	84
5) この病院からの退院患者の紹介を受けることを今後どう考えますか				
① もっと積極的に紹介してほしい	120	44	48	28
② ケース・バイ・ケースで紹介してほしい	454	168	111	175
③ 紹介してほしくない	8	5	1	2

p = 0.002

質問7. この病院の当該診療科に患者様を紹介する、あるいは受診を進めることを今後どうしますか

①積極的に紹介する ②ケース・バイ・ケースで紹介する ③紹介したくない

全職種についての集計

	総数	D P C病院 からの報告 に基づくもの	D P C試行 病院からの 報告に基づ くもの	D P C協力 病院からの 報告に基づ くもの
①積極的に紹介する	736	289	181	266
②ケース・バイ・ケースで紹介する	1276	491	340	445
③紹介したくない	17	3	5	9

医師についての集計 (省略)

看護師についての集計 (省略)

以上、二次調査集計結果

V. まとめ

1) 一次調査：「DPC病院、DPC試行的適用病院、DPC調査協力病院に対する調査」

(1) 調査病院と診療科 (質問1)

調査対象の候補病院としてあげた病院は、DPC病院、DPC試行的適用病院、DPC調査協力病院の各群とも約25であったが、DPC調査協力病院から調査に協力するとの多くの申し出があり、DPC病院24、DPC試行的適用病院27、DPC調査協力病院47と調査協力病院の数が大きく上回った。期限内に一次調査票の回収を終了した病院は、それぞれ21、25、45と何れの群も回収率が良く、また群間に回収率の差異は無かった。また、回答のあった診療科数はそれぞれ450、284、479であった。

回収率および回答のあった診療科数から、一次調査は二次調査を行う基礎情報として十分意味のあるものであると考える。

なお、各病院群の診療科をみると、何れの群でも外科系が多く、一部は内科系と外科系の混成であった。DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院の診療科数が共に平均11であったのに比して、DPC病院の平均の診療科数は21であったが、これはDPC病院が主に大学病院であり、教育病院としての機能を兼ね備えることの当然の結果である。

(2) 入院する患者の傾向（質問2、3、4、5）

診療科名のみでは把握しきれない入院患者の病態を、MDC分類、複雑な病態、癌、リハビリテーションの4つの視点で質問した。

質問2では、各診療科であつかう患者数をMDC分類毎の印象として5段階の比率で示してもらった。その結果、何れのMDCにおいても、DPC病院、DPC試行的適用病院、DPC調査協力病院の間に、扱う診療科数の分布に差はなかった。すなわち、何れの群においても、01（神経系疾患）、04（呼吸器疾患）、05（循環器系疾患）、06（消化器系、肝臓・胆道・膵臓疾患）、10（内分泌・栄養・代謝に関する疾患）の5つのMDCを扱う診療科が多く、09（乳房の疾患）を扱う診療科は少なかった。

しかし、質問3（1）で定義したような「複雑な病態の患者」の入院については、DPC病院では193の診療科（43%）が「常時、数例以上入院している」と答え、DPC試行的適用病院（診療科の26%）、DPC調査協力病院（診療科の20%）に比較して際立った違いがあった。また、DPC病院では「複雑な病態の患者」の入院が著しく増加、あるいは増加していると答える診療科が他の群の病院より多かったことは、今後この傾向が強くなることを予測させる。

質問4（1）の集計結果で示したように、DPC病院では癌・悪性腫瘍についての入院が「全て、もしくは殆ど全て」あるいは「大多数の患者様が該当する」とする診療科が、他の2つの病院群に比して著しく多かった。この傾向もまた、質問4（2）の結果から将来いっそう顕著となることが予想される。

一方、リハビリテーションを必要とする患者の入院については、質問5（1）の集計結果がしめすように、3つの病院群に大きな差は無い。増加の傾向も同様である。しかし、質問5（2）の後半についての集計結果から、リハビリテーションを必要とする患者様の治療方針は、DPC病院では「早期のみとし、後は他院に紹介する」とする傾向が強いが、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院では「自院で十分に行う」とする診療科が比較的多いという結果であった。

これら、扱う患者の病態に関する違いは、相互の役割分担と医療連携のありように大きな影響を及ぼしているものと考えられる。

(3) 平均在院日数、入院待ちに関する傾向（質問6、7）

質問6で得た各病院の診療科毎の平均在院日数の平均は、概ね病院単位での平均在院日数に合致し、DPC病院がDPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院より5日程度長いという結果になった。病床稼働数は病院毎のばらつきが多く診療科の病床単位には各病院群に大きな差はなかった。

質問7は各診療科の入院待ちの状況を調査したものだが、DPC病院では「常時10人前後の入院待ち」あるいはそれ以上の診療科が他の2つの病院群より際立って多かった。同様に、入院待ち

日数についてもDPC病院では「常時10日前後の入院待ち」あるいはそれ以上の入院待ち期間が生ずる診療科が際立って多かった。しかも、この入院待ち日数はDPC病院において長くなる傾向にあると答えた診療科が多かった。

既に示したように、DPC病院は「複雑な病態」、「癌・悪性腫瘍」を扱う診療科が多いという特徴があり、そのことは平均在院日数の延長につながり、入院待ち人数・待ち日数の増加に及んでいるものと推測できる。

(4) 紹介・逆紹介に関する傾向（質問8、9、11、12）

さて、「複雑な病態」、「癌・悪性腫瘍」、「リハビリテーション」などへの取り組みが各病院群で異なり、相互に役割の分化が進んでいるとすると、紹介・逆紹介にもその影響は及ぶものと考えられる。

質問8では、「他医療機関から紹介されて入院する」患者の割合が「全て、もしくは殆ど全て」あるいは「大多数」とする診療科がDPC病院で多いことが示された。しかし、これら紹介患者の受入数の増加傾向については各病院群に差は無かった。一方、質問9の集計結果にあるように、他医療機関への紹介は概ね何れの病院群においても差異が無く、増加の傾向にも差は無かった。

質問11では、あらためて紹介・逆紹介のバランスを質問した。DPC病院では、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院に比較して、「他医療機関からの紹介が多い・著しく多い」とする診療科が多く、「他医療機関への紹介が多い・著しく多い」とする診療科は少なかった。また、質問12の集計結果からは何れの病院群も他医療機関への紹介数が増えたとする診療科の比率は同等であった。

「複雑な病態」、「癌・悪性腫瘍」、「リハビリテーション」などについての個々の要因が、これら紹介・逆紹介の多寡とどのような関係があるかは、さらに詳細な分析を必要とする。

(5) 他医療機関・施設への紹介の実態とニーズ（質問10、13、14）

紹介先医療機関・施設の種類では、何れの病院群の診療科も病院に紹介することが極めて多いが、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院では診療所や介護福祉施設へ紹介する診療科が多いという特徴を得た。

紹介の理由を見ると、DPC病院のほうが「癌の終末期緩和ケアのため」、「リハビリテーションのため」とする診療科が多く「介護・福祉型の療養のため」、「在宅療養に移行するため」とする診療科は少なかった。一方DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院には「提供困難な検査を行うため」、「提供困難な治療を行うため」とする診療科が多かった。

質問13ではDPC病院等が求める、紹介先医療機関・施設の機能についてのニーズを聞いている。ここでも、DPC病院の診療科が「癌の終末期医療」「癌の在宅緩和ケア」や「リハビリテーション」を行う施設をより多く求めていることがわかる。一方、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院の診療科にとっては、「退院後の在宅介護」「介護・福祉などの入所」にニーズが強い。

さて、DPCによる包括医療制度が地域医療に与えるか影響については、何れの病院群も同じ傾向であり、「医療連携クリニカルパス」に注目が集まっている。また、DPC調査協力病院において全般的に期待が大きいという集計結果であった。

(6) 一次調査のまとめ

一次調査はDPC病院などの診療科にたいし、強く連携する医療機関・施設名を報告していただき、その医療機関・施設の職員への二次調査でDPC病院等の紹介患者の医療内容に関する評価を行うおうとするものである。しかし、単に医療連携先の職員への調査を行い評価を得るとしても、紹介元となるDPC病院等の扱う患者の病態や医療連携の目的などが明らかにならないとすれば、二次調査の集計結果にたいする解釈は十分なものにならないと考える。

この意味で、DPC病院、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院の診療科が扱う患者の疾患内容、また医療連携についての実情やニーズが「複雑な病態」「癌・悪性腫瘍」「リハビリテーション」などの視点において異なることが示されたこと、また、入院待ちの患者様がDPC病院に多いことが示されたことは意味あることであった。

2) 二次調査：「DPC病院等との連携先医療機関・施設の職員に対する調査」

(1) 回答した職員について（質問1、2）

回答した職員数は2136人であり、医師720人、看護師629人、それ以外が787人であり、病院の勤務者が大多数であった。DPC病院の一次調査に基づく回答者では、「かつて勤務し、診療に当たっていた」という関係がある職員が多かったことは、この二次調査の集計結果の解釈について考慮すべき点かもしれない。

(2) DPC制度についての周知度（質問3）

DPCを良く知っている、あるいは簡単な説明ができる程度に知っているとする職員は全体の約半数であり、医師のほうが看護師より良く知っているという結果であった。

(3) 患者を紹介された理由、および患者に対する記憶（質問4、5）

質問5の集計結果をみると、「治療の継続」、「リハビリテーション」「当院が紹介元」と理解す

る職員が多かった。一次調査では、DPC病院が他の病院群より癌患者を多く扱い、紹介していることが明らかになったが、このことは紹介を受けた医療機関・施設の職員も認識しており、「癌の終末期緩和ケアのため」と理由を認識する職員は、DPC病院からの報告に基づく二次調査票を記入した職員が多かった。

なお、調査票を記入した職員は、概ね紹介された患者に対する何らかの印象を記憶しているとの結果であるが、約18%の職員が「ほとんど記憶に残る患者様はない」と答えている。このことがこの調査全体に及ぼした影響は改めて検討する。

(4) 連携先医療機関・施設の職員からの評価（質問6、7）

紹介もとのDPC病院等で行われた検査・治療については、全職員の回答によると、「満足できる」と「向上して満足できるようになった」の計は「変わらず、やや不満」の「以前より不十分な検査・治療になった」計より上回ったものの、概ね全体の84%であった。この割合は、DPC病院、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院の一次調査に基づくものとして分類しても、それぞれ85%、85%、82%であり、相互に差異は無かった。

また、速すぎる退院、重症な患者の増加、患者様から聞く満足度のいずれにおいても、DPC病院、DPC試行的適用病院およびDPC調査協力病院の一次調査に基づいて分類し集計した二次調査の職員の回答には差が無かった。

これらの評価と関連のあることとして、紹介を受け入れることについても、あるいは紹介をすることについても、何れの病院群にたいしても同等に積極的であるとの回答であった。

(5) 二次調査のまとめ

DPC病院およびDPC試行的適用病院は既に包括評価制度を導入しており、DPC調査協力病院と比較することでDPCに基づく包括評価制度が地域医療に混乱を生じているかを検討したが、この結果から、そのような傾向は無いと推測する。

医療連携は、それぞれの医療機関の特徴、入院する患者の病態、医療機関の方針などに深くかわりながらなされていくものであり、医療制度の変容と密接な関係がある。医療機関の機能分化、役割分担の明確化は現代の医療の特徴であることから、地域として医療の質を評価する何らかの指標作り、評価を継続的に行っていく仕組みも必要である。今回の調査がその一助となることを期待する。